『核 医 学 技 術』投 稿 規 程

1．目　的

この規程は，日本核医学技術学会学会誌「核医学技術」の投稿方法および掲載基準を定める。

2．投稿資格

本誌への投稿筆頭者は寄稿，特別企画を除き「日本核医学技術学会会員」とする。ただし，下記の学術論文において会員以外が筆頭者の場合は，投稿料を学会事務局に収めることで原稿を受理することとする。

（投稿料については 8-5）参照）

3．投稿内容

1）投稿原稿は核医学技術に関連あるもので，「原著，臨床技術，資料」の学術論文のほか，「その他」と論文審査小委員会から執筆を依頼する「寄稿，特別企画」である。

2）掲載区分は別表に定める基準によるものとする。また，「原著，臨床技術，資料」は査読の対象となる。その他の掲載区分については，論文審査小委員会にて審査する。

4．投稿方法

1）原稿は，表紙（学会誌添付あるいは当会ホームページからダウンロード可能）・本文・引用文献・図表および図表の説明文の順にまとめる。

2）要旨について，日本語論文は和文要旨とし，英語論文は英文要旨とする。ただし，日本語論文の原著は，和文要旨と英文要旨の両方を作成する。原稿の長さは区分別に別表に従うこと。

3）原稿および写真は各 1 部とすること。ただし，電子ファイルの提出では，この限りではない。

5．論文執筆上の注意

1）本　文

(1) 本文は和文または英文とし，Word 原稿（A4 版30字×30行）を原則とする。電子ファイルの場合は掲載区分に関係なく，必ず論文名と投稿者名および機種・ソフトウェアを明記した CD-R（W），DVD-R（W）等の電子媒体を添付すること。なお，電子媒体は，個人の責任において，必ずウイルスチェックを行うこと。

(2) 学会誌に添付してある投稿表紙（学会ホームページからもダウンロード可能）に従い，希望掲載区分・希望別刷部数・表題・原稿の長さ・著者名・施設名・Keyword・要旨を記載すること。表題・著者名・施設名は英文も必ず記載すること。

(3) Keyword は論文の内容を示す簡潔な英単語 5 語以内の名詞形とする。

(4) 和文要旨はおよそ400字とすること。英文要旨はおよそ250語とし，ネイティブチェックを行うこと。

(5) 原稿にはページ数および 5 行間隔に行数を記入し，図表の組込み希望場所を欄外右横に付記すること。

(6) 投稿原稿の表紙および要旨などは規定の原稿枚数として算定する。

(7) 研究内容に対し倫理的配慮と利益相反に関する文面を記載すること。

2）図　表

(1) 図表はワープロやパソコンの図表作成ソフトを使用し，できるだけ高密度出力のプリンタを用いること。なお，仕上りが不鮮明になることが予測される場合は，再提出を求めることがある。（参考として TIFF で 300dpi 以上）

(2) 写真は原則として白黒写真とし，大きさはキャビネ版（はがき）程度が望ましい。また，カラー写真の場合は掲載料を著者負担とする。

(3) 図表・写真は 1 枚で Word 原稿 A4版 1 枚に換算する。

(4) 図・写真および表は本文と離して別とじとし，図 1 および表 1 のように通し番号をつけて，タイトルと必要な説明文を付け加える。

(5) 図表・写真のタイトルとその説明文は，日本語論文は和文，英語論文は英文とすること。ただし，原著の日本語論文は和文と英文の説明文を作成すること。

3）文　献

(1) 引用文献の書き方は，バンクーバー方式（引

Presented by Medical*Online

用順方式）とし，本文の参照箇所に引用順に文献の連番(1)(2)(3)をつけ，本文の最後に連番順で文献を記述すること。

(2) 引用文献の書き方は次の形式による。

［雑　誌］

番号）著者名．表題．誌名，西暦年次；巻数（号数）：頁数

［著　書］

番号）著者名．書名．発行所名，西暦年次；版数：頁数，

(3) 英語表記の著者名は，姓，名の順とし，姓は全て記述し，名は頭文字のみを記述する。

例　Maeda Y（前田幸人）

(4) 引用文献での著者名は，3名まで記載し，以下は和文雑誌にあっては“他”，欧文雑誌は“et al”とする。

（和文例）

1）白川誠士，藤田　透，矢野慎輔，他．3検出器型SPECT装置による心筋SPECT収集法の検討．核医学技術 1995；**15**(1)：10-13

（英文例）

1）Yamamoto Y, Ono Y, Aga F, et al. Correlation of ^{18}F-FLT uptake with tumor grade and Ki-immunohistochemistry in patients with newly diagnosed and recurrens gliomas. J Nucl Med 2012；**53**(12)：1911-1915

6．原稿の受付および審査

1）投稿原稿の採否および掲載区分は，論文審査小委員会が審査の上決定する。

2）投稿原稿は査読者の判定結果をもとに論文審査小委員会で審査後，投稿者に返却し訂正を求めることがある。

3）受理された原稿は，論文審査小委員会からの訂正指示や承諾なしで，追加や訂正することは認めない。

4）訂正原稿は，論文審査小委員会より返送された日から60日以内に再提出するものとし，この期間を過ぎた場合は新たな投稿扱いとして処理する。

7．校　正

1）ゲラ原稿の初回校正は著者校正とする。校正はゲラ原稿到着後3日以内に行い，書留速達便にて返送すること。

2）原稿になかった部分の図表訂正は認めない。

3）期限に遅れた場合は，論文審査小委員会の校正および判断で処理する。

8．料　金

1）寄稿・特別企画を除き，別表に定めた規定の刷り上がりページを超えたものは，超過ページ数を有料（1/2ページあたり1万円）とする。

2）別刷りは有料とする。依頼原稿については執筆者の意向を考慮の上，論文審査小委員会で決定する。

3）至急掲載の希望原稿については別途特別掲載料を申し受ける。

4）カラー印刷代は有料とする。

5）上記1）から4）については会員に適用するもので，会員以外が筆頭者の場合は，以下の掲載料を，掲載が決定した時点で学会事務局より請求する（論文審査小委員会より依頼した原稿は除く）。

学術論文は10,000円/論文一編，その他原稿の掲載料は5,000円/ページ，別刷り代1部300円。

9．著作権

「核医学技術」に投稿・寄稿された論文・報告等に関して，掲載後の著作権は日本核医学技術学会に帰属する。

10．送り先

原稿には投稿者の住所氏名を書いた宛名ラベル3枚を添えて，封筒の表に「原稿在中」と朱書きし，書留で学会事務局宛送付のこと。

11．改　訂

この規程は理事会の1/2以上の議決により改訂できる。

改訂：昭和57年12月25日，昭和61年6月10日，
平成元年2月19日，平成2年7月14日，
平成4年5月10日，平成5年1月24日，
平成8年2月10日，平成9年6月21日，
平成13年2月24日，平成14年2月8日，
平成14年6月28日，平成16年6月26日，
平成21年3月7日，平成25年10月5日，
平成28年2月21日，平成28年9月25日，
平成29年6月5日，令和2年9月13日
令和4年12月14日

Presented by Medical*Online

別　表

掲載区分	基　　準	刷り上り最大ページ数	A4版（30×30字）の原稿枚数	要　旨	図表の説明	Key word	表題，著者名，施設名の英文
原　　著	核医学に関する独創性のある結論の明確な論文で他の出版物に未発表のもの。	8	16	要（日本語論文では和文と英文，英語論文では英文のみ必要）	要（日本語論文では和文と英文，英語論文では英文のみ必要）	要	要
臨床技術	装置，製品，試薬などに関する新しい試みや経験，核医学技術をベースに臨床に応用できる実用価値のあるもの。	8	16	要（日本語論文では和文のみ，英語論文では英文のみ必要）	要（日本語論文では和文のみ，英語論文では英文のみ必要）	要	要
資　　料	研究，技術などに関する参考資料となるもの。	6	12	要（日本語論文では和文のみ，英語論文では英文のみ必要）	要（日本語論文では和文のみ，英語論文では英文のみ必要）	要	要
そ の 他	報告分，紀行分，印象記，論文紹介，編集者への手紙及び掲載論文に対する誌上討論や追加分など。	4	8	不要	不要	不要	要
寄　稿・特別企画	核医学技術に関して価値ある内容であると編集委員会が判断し依頼したもの。	8	16	不要	不要	不要	要

Presented by Medical*Online

【投稿の手引き】

1．執筆上の注意事項

1）論文の構成

学術論文の標準的な構成は次の各部よりなる。論文の内容によっては項目や順序が異なってよい。下記に一般的な例を示す。

1）表紙
2）要旨（日本語論文は和文で，英語論文は英文で作成すること。ただし，原著の日本語論文は和文と英文を作成する。）
3）緒言
4）方法
5）結果
6）考察
7）結論
8）引用文献

2）一般的注意

(1) 英数字:小文字の語句と数字のスペースは，1マスに2文字（小数字も1字）と考える。大文字は1マス1字とし，英単語の改行は所定のマス数を考慮し行う。これは本文，図表説明文および参考文献のいずれも共通。
(2) 写真：印画紙に焼付けたものを，原稿用紙と同じ大きさの台紙に貼りつけること。
(3) 文体：原則として『…である』体にて簡潔に書き，和訳された熟語がまだ一般的でない場合は（　）内原語も付記すること。

3）本文での注意

(1) 数式：添字はとくに明瞭に記載し，数式はなるべく一行におさまるように書くこと。
例）A＝nRT・Ln（V1/V2）
(2) 文字の指定：誤読され易い文字は赤ペンなどを用い，読みカナで文字を指定する。
例）C. K. O. Pなどの大文字と小文字，l（エル）とI（アイ）とi（アイ），γ（ガンマ）とr（アール），α（アルファ）とd（ディー）とa（エー）などの区別。

4）図表・写真での注意

図表や写真中の記号および文字数字やタイトルの大きさは，刷り上がり縮小率を考慮した大きさとする。縦横比はタイトルを含む1対1.4（1/8ページ），1対0.7（1/4ページ），1対0.4（縦半ページ），1対1.5（横半ページ）などとし，台紙に上下を明示する。また，傷がつかないようトレーシングペーパーなどで覆うことが望ましい。

5）引用および参考文献

原則として一般読者の利用可能な公刊文献とし，社内資料など非公開のものは除く。また，引用文献での頁数は各巻（Vol.）数の通し頁数を記入する。

2．投稿前の確認事項

査読，編集，印刷時の誤解をさけるため，次の事項を再点検したのち投稿すること。

a．略記号等の説明落ちは？
b．図表中の単位落ちは？
c．図表・写真の挿入箇所指定は？
d．誤字，脱字，綴りの間違いは？
e．誤読され易い文字の清書，タイプミスし易い文字の清書およびタイプミスし易い文字の活字指定（例・フリガナ）は？

これらの事項を確認の上，本文と図表は別個（特に図表は傷の付かない場所）で綴じる。

3．投稿原稿の訂正・校正

1）査読・審査

査読は，原著，臨床技術，資料の全てにおいて専門分野2名の査読者が行い，訂正指示が出た場合はその内容や程度に応じ次の処理をする。

a．軽い場合は論文審査小委員会が審査し訂正する。
b．中程度および図表の一部訂正が必要な場合は著者の訂正・校正を要請する。
c．訂正・校正箇所が多端にわたる場合は著者の全文書換えを要請する。

2）著者の訂正・校正

査読指摘事項および論文審査小委員会の審査結果などと共に，関連原稿を著者宛に郵送する。著者は，再投稿原稿に査読指摘事項のそれぞれに対応する回答を添えて，論文審査小委員会宛に返送すること。

3）その他

その他詳細は論文審査小委員会が審査し決定する。

（一部改訂：令和2年9月13日）

Presented by Medical*Online

投　稿　表　紙（学術論文）

希望掲載区分		投稿	初回・再投稿・再々投稿	希望別刷部数　　部 （別刷りは有料となります。）
二重投稿　□無	利益相反　□有·□無		生命倫理の配慮 □有·□不要	個人情報の保護 □有・□不要
表題	（和文）			
	（英文）			
原稿の長さ	合計　　枚（内訳：本文　　枚・図表　　枚・その他　　枚）			
著者名および共著者名（会員番号）	（和文） （英文）			
施設名	（和文） （英文）			
連絡先	（住所） TEL　　FAX E-mail			
著者校正の依頼先	住所： 氏名： TEL： E-mail：			

Presented by Medical*Online

和文要旨 （400字程度） ＊原著論文と日本語論文は必須	
英文要旨 （250語程度） ＊原著論文と英語論文は必須	

Presented by Medical*Online

keyword 5つ以内 （英単語5語以内の名詞形）	
そ　の　他	謝辞やコメントは本文ではなく，ここに記載して下さい。

※本ページをコピーの上，必ず投稿論文に添付してください。

Presented by Medical*Online

投　稿　表　紙（その他，寄稿・特別企画用）

投稿区分			
二重投稿　□無	利益相反　□有·□無	生命倫理の配慮 □有·□不要	個人情報の保護 □有・□不要
表題	（和文）		
	（英文）		
原稿の長さ	合計　　枚（内訳：本文　　枚・図表　　枚・その他　　枚）		
著者名および共著者名（会員番号）	（和文）		
	（英文）		
施設名	（和文）		
	（英文）		
連絡先	（住所） TEL　　FAX E-mail		
著者校正の依頼先	住所： 氏名： TEL： E-mail：		
keyword 5つ以内 （英単語5語以内の名詞形）			

※本ページをコピーの上，必ず投稿論文に添付してください。

Presented by Medical*Online